

森(もり)・盛(もり)・オホーツク



No. 5 平成27年7月9日

林野庁 北海道森林管理局

常呂川森林ふれあい推進センター

第12回オホーツクの森ボランティア育樹

174名の参加で

6月29日、オホーツクの森ボランティア育樹実行委員会（委員長：鈴木順策）主催により、常呂・端野小学校の5年生、常呂漁協、北見林業土木協会、みどりネットワーク、森ボランティア「オホーツクの会」、北林会など、174名の参加でアカエゾマツ（S61 植栽）の枝払いを行いました。

当日は、久々の青空に恵まれ実行委員長の「地球の温暖化など環境問題が大きな関心となっ



り、森林の持つ公益的機能が見直されてきている。本日は、枝払いという育樹活動を通じて健全な森林づくりのためには手入れが必要であることを感じていただきたい。」とのあいさつを受け、作業に移りました。

子どもたちは、3人1組で「オホーツクの会」や北林会等の皆さんの指導で枝払いを行いました。

最初のうちは普段、使うことのないノコギリに苦労してしまし

すっかり上達



たが、「ノコは大きく使う」「ゆっくり動かす」などを教えてもらって終盤にはすっかり上達していました。

また、子どもたちは、作業地からの帰りに山びこ体験を行い、力いっぱい「ヤッホー」と声を出していました。

午後からは「古の森」で樹齢約400年のハルニレや倒木更新などを観察するとともに森林のはらたき、森の恵み（山菜）などを学びながらの森林散策でリフレッシュしました。

リフレッシュ



オホーツクの森づくり

6月28日、「森林とのふれあいを楽しみながら、森林について理解を深め、あるべき姿の森林づくりを手助けするとともに、森林を愛する仲間の輪を拡げていくこと」を目的に12名の参加で行いました。

午前中は、自然再生モデル林のカミネッコン植樹箇所ではエゾシカ等の食害から守るためのシートの補修作業を行いました。

午後からは、富里ダム森林公園（市有林）の散策を行いました。展望台からは富里ダムや本沢牧場を見晴らすことができ、「初めて来たがすばらしい森林」などの感想がありました。



森林づくりには

人手が必要です

「古の森」散策と自然再生を学ぶ

7月5日、18名の参加で「当センターで行なっている自然再生モデル事業のめざす森林（針広混交林）の様子と森林再生の取り組みを学ぶこと」によって、森林ボランティア活動に対する理解を深めるとともにその輪を広げていくこと」を目的に実施したものです。



午前中の「古の森」散策では、大正6年の山火事跡の森林が移り変わる様子や倒木更新、樹齢250～400年のエゾマツやハルニレ、クマガラの食痕など、多くの生き物が生活していることを感じることができました。

午後からは、自然再生モデル事業として取り組んでいる郷土樹種の植込み（カミネッコン）とその後の保育作業などを観察しました。

参加者からは、「森林づくりには長い年月と人手が必要なことを知った。」「今後、ボランティアとして協力したい。」「『古の森』は観光資源になる、もっとPRすべき。」などの感想・助言がありました。

北海道森林管理局 常呂川森林ふれあい推進センター

090-8588 北海道北見市北斗町3丁目11-3

TEL 0157-23-2960

FAX 0157-26-2144

http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/tokorogawa_fc/